

防災対策事例発表

ラストワンマイル輸送の課題解決への取組み

緊急物資を避難所へ迅速に輸送するために



一般社団法人静岡県トラック協会 西部分室



静岡県トラック協会のご紹介

1. 静岡県トラック協会の概要

- 会員数は1,373社、会員が保有するエンジン付き車両は約3万台です。
- 3支部8分室で組織しております。

2. 静岡県の概要

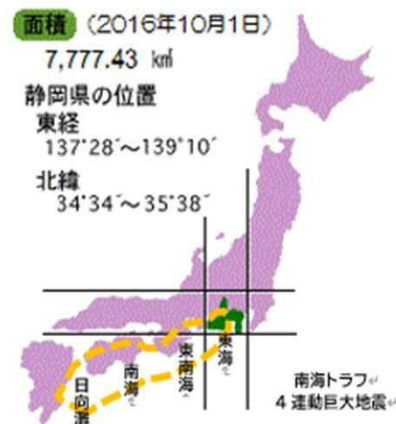
- 面積は約7,800k㎡、人口は約360万人、世帯数は約143万世帯です。
- 政令指定都市2市(静岡市(約70万人)、浜松市(約80万人))を含む35市町を有しています。

3. 想定されている地震(南海トラフ巨大地震等)被害想定

- 南海トラフ巨大地震の場合、県内建物の約2割が全壊・焼失し、人的被害は死者10万人超として想定されています。

4. 静岡県トラック協会の災害対策に関する取組み

- 令和元年度に災害対策委員会(協会長並びに委員9名)を設置しました。
- 自県被災時の災害時物流に対応するため、事前の取組みとして、県・市町をはじめ関係機関との定期的な協議、輸送班の編成、輸送拠点等の調査に基づく拠点カルテの作成、このほか実施要綱やマニュアルの策定の整備等に取り組んでいます。



災害対策委員会 令和2年度 取組事項

(1) 関係機関との連携

- ① 静岡県との輸送協定に基づいた災害時物流の構築に向けた協議 ② 民間物流施設の情報収集と活用に向けた中部運輸局との協力

(2) 輸送体制の確立

- ① 静岡県関係部局との連携・連絡体制の確立(情報・物資・事務処理の流れ) ② 県内広域物資輸送拠点(県下8拠点)の運営体制の検討
③ 支部、分室の体制構築に係るフォロー ④ 協会事務局の参集基準等の検討 ⑤ 連絡網や通信手段の検討と整備 ⑥ 災害物流専門家の確保
⑦ 緊急輸送実施要綱、実施マニュアル等の作成

(3) 物資輸送拠点の調査

- ① 広域物資輸送拠点・地域内輸送拠点等の調査(訓練含む)

(4) 緊急物資輸送の実施(地方指定公共機関(災対法、国民保護法、インフル措置法)としての業務)

(5) 防災訓練への参加

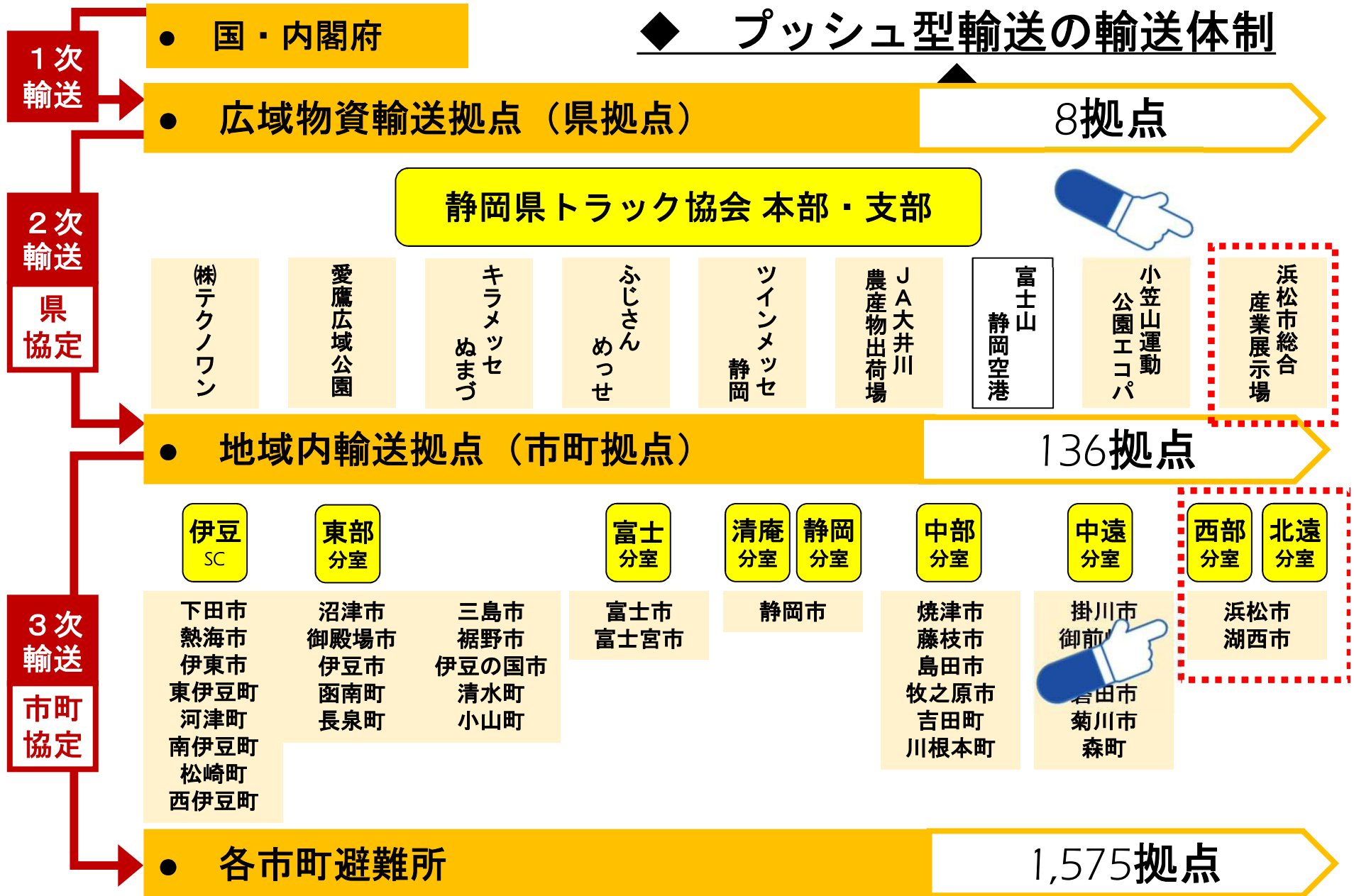
(6) 調査・研修

- ① 視察研修会の実施 ② 災害物流専門家・防災担当者の育成(各種研修への参加勧奨)

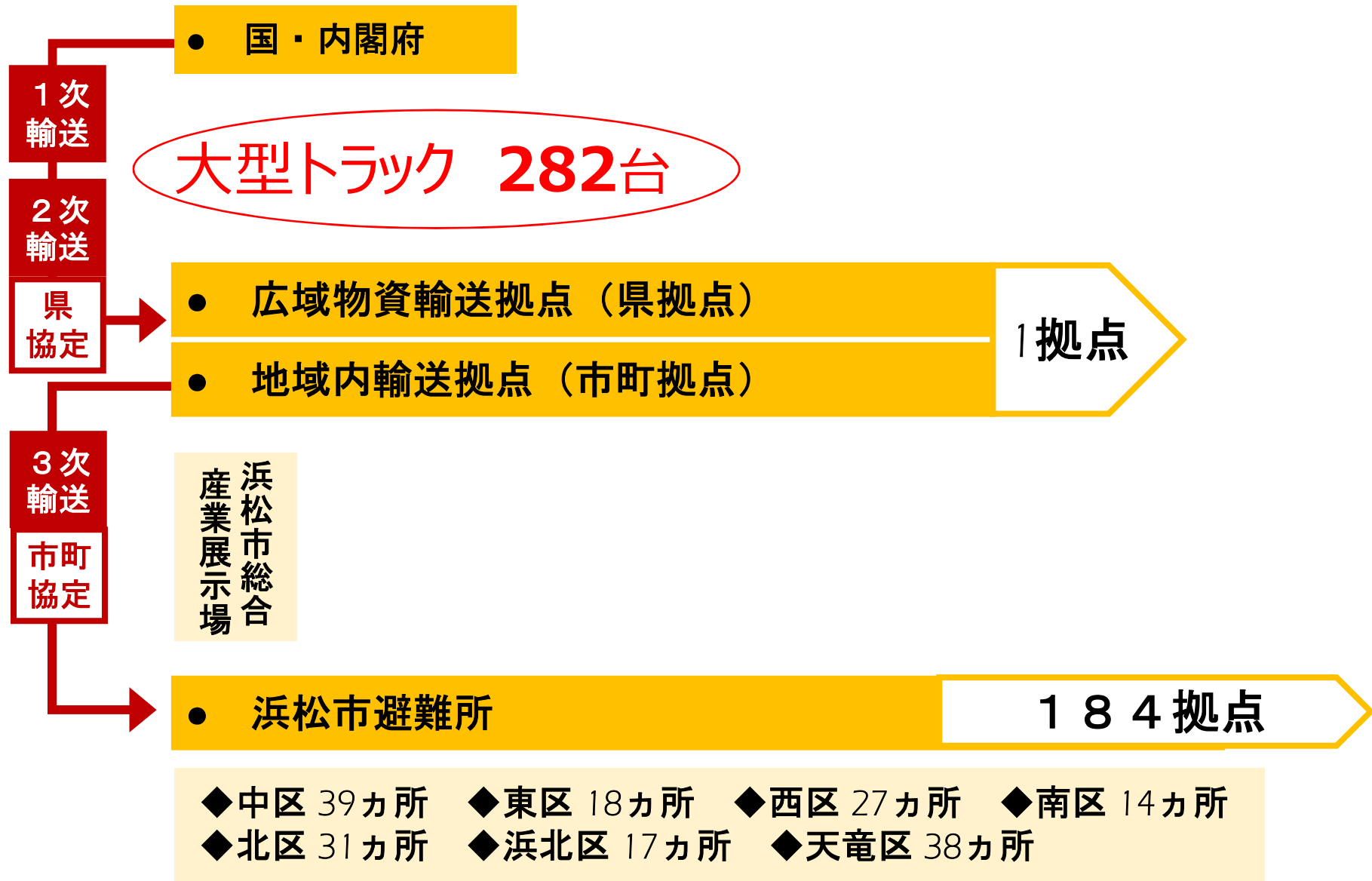
- 協会としては、おもに2次輸送に係る緊急輸送協定として、平成26年に静岡県・倉庫協会・トラック協会三者協定を締結しています。また、おもに3次輸送を想定して、35市町のうち23市町と分室が協定しています。

- 令和2年度事業として、この3次輸送に係る市町協定の見直しを図り、県下統一した協力体制の構築を目指しています。

◆ プッシュ型輸送の輸送体制



◆ プッシュ型輸送の輸送体制 浜松市 ◆



● オペレーションの検討

西部広域物資輸送拠点及び浜松市物資集積所等の運営検討会議

■構成メンバー

静岡県県西部農林事務所、県西部地域局、浜松市、湖西市
静岡県トラック協会、他

■会議

第7回 元年6月21日
第8回 元年9月9日
第9回 元年12月9日
第10回 2年2月4日



■研修会

- 元年9月27日
- ・ テーマ：過去の災害物流の取組事例と今後の課題、問題点
 - ・ 講師：吉田将一氏（全日本トラック協会 交通環境部課長）
- 元年10月8日
- ・ テーマ：南海トラフ巨大地震に備える企業防災
 - ・ 講師：山村武彦氏（防災システム研究所所長）

● オペレーションの検討

静岡県・浜松市・湖西市緊急支援物資輸送訓練への参加

- ・ 日時 令和2年1月15日 9:00～16:00
- ・ 会場 浜松市総合産業展示館
湖西市アメニティプラザ／湖西高校
- ・ 主催 静岡県農林事務所、浜松市、湖西市



● 輸送班の編成

広域物資輸送拠点(兼地域内輸送拠点)

別表1-8

浜松市総合産業展示館			
事務局	災害対策委員長	西部分室長	北遠分室長
	西部分室事務局長	北遠分室事務局長	

【表中説明】

避難所No./(輸送PT)	※避難所No.=各市管理No. / 輸送PT=パレット数
事業者名	※t: 2=2t / 4=4t / 11=大型
車両(t・種・台・回)	※種: W=ウイング・バン / H=平ボディ / R=冷凍・保冷

浜松市総合産業展示館

↓
湖西アメニティプラザ

湖西市
湖西アメニティプラザ ほか1カ所

17(湖西市)

2次輸送班
ウイング・バン

3次輸送班

	1(9)	2(21)	3(47)	4(31)	5(21)	6(0)	7(5)	8(15)	9(0)	10(23)	11(20)
11W×1回×4日間	4W×1台×1回	4W×1台×3回	4W×2台×3回	4W×1台×4回	4W×1台×3回		2W×1台×2回	4W×1台×2回		4W×1台×3回	4W×1台×2回
※計56PT(14PT×4日間)											
※4日間=4~7日目	12(31)	13(12)	14(9)	15(28)	16(4)	17(17)					
	4W×1台×4回	4W×1台×2回	4W×1台×1回	4W×1台×3回	2W×1台×2回	4W×1台×2回					

※条件①: 輸送パレット数は切り上げとする

※条件②: 2t車=3PT / 4t車=10PT / 大型車=16PT

※条件③: 事業者対応可車両の台数は報告数、日数は無期限とする

※条件④: 避難所毎に車両を固定し専属化

※条件⑤: 輸送日数、回数は2次輸送の状況等により対応

※「No.6」 鷺津コミュニティ防災センターの避難者は鷺津小(中)と重なる

※「No.9」 表鷺津コミュニティ防災センターの避難者は湖西高と重なる

※上記両センター(No.6及びNo.9)は2021.3末にて閉鎖予定



物資輸送拠点等の調査

～県・市町からの要請に基づく協力～

「広域物資輸送拠点」 「地域内輸送拠点」 調査

- 拠点情報（施設名称、位置、設備保有状況等）の確認
- 搬出入経路、待機場所、荷卸場所、積込場所等の確認
- 動線、積込・積降の方法等の確認

物資輸送拠点等の調査

西部・北遠分室の取組み ～分室会員が積極的に活動展開～

● 避難所カルテの作成

○ 目的

発災時におけるスムーズな3次輸送を実施するために、予め避難所への輸送車両の車種選定及び進入口の確認をしたうえで、避難所カルテを作成し、3次輸送担当事業者に周知する。

【避難所カルテ：浜松市】

1. 避難所情報

項目	情報
避難所No.	南 1
区名	南区
避難所名	白脇小学校
所在地	南区寺脇町431
収容人数	名
進入可能車両	4 t車
主な進入口	西側
気づいたこと等	進入路に傾斜あり10t不可

品目内訳(浜松市)	数量	単位	パレット枚数
①毛布	168	10枚/箱	28.00
②パン	57	40食/箱	1.02
③精米	34	50食/袋	1.06
④麺	37	20食/箱	1.16
⑤主食缶詰	23	24食/箱	0.64
⑥粉ミルク	1	8缶/箱	0.04
⑦生理用品	1	1080枚/箱	0.13
⑧乳児用オムツ	7	168枚/箱	0.18
⑨大人用オムツ	2	88枚/箱	0.08
⑩携帯トイレ	221	120個/箱	1.84
⑪トイレペーパー	12	8個/箱	1.50
輸送量計	563		35.65

2. 分室情報

項目	情報
調査担当班	13 班
輸送担当①(車種/t)	4R
輸送担当②(車種/t)	
輸送担当③(車種/t)	
運行	4R×1台×4運行
その他	R=保冷車

3. その他

項目	情報
担当運送会社、トラック情報	

4. 広域地図



5. 周辺地図



6. 進入口写真



【参考】

支援物資輸送実績（一部）

2016年 4月20日
熊本県熊本市 向け



2018年 7月 9日
岡山県倉敷市 向け



2018年 7月10日
岡山県総社市 向け

